

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

症状や特徴

★主な症状

- ・ 吐気や嘔吐・下痢や腹痛・発熱

★主な特徴

- ・ 潜伏期間は 1～2 日。感染力が強い。
- ・ 症状の持続期間は 1～2 日間。



感染経路

★人からの感染

- ・ 感染した人の便やおう吐物に触れた手指を介してノロウイルスが口に入る場合。
- ・ 感染した人の便やおう吐物が乾燥して空气中に舞い上がり体内に取り込んだ場合。
- ・ 感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合。

★食品からの感染

- ・ ノロウイルスを取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生や不十分な加熱処理で食べた場合。

予防方法

- ・ 手は石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。
(特に食事前、トイレの後、調理前後)
- ・ 調理器具、調理台は清潔に使用しましょう。
熱湯 (85℃以上) で 1 分以上の加熱消毒が有効です。
- ・ 二枚貝を調理する時は、中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・ 便や嘔吐物の処理時は、使い捨ての手袋・マスク・エプロンを着用し、ペーパータオルでふき取ります。ふき取った後は次亜塩素酸ナトリウムで浸すように再度ふき取り、最後に水拭きしてください。
(拭き取った汚物はビニールに入れて閉じましょう。)



★ノロウイルスはアルコール消毒が効きにくく、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です！

塩素系漂白剤を水で薄めて「次亜塩素酸ナトリウムの消毒液」が作れます。



ノロウイルスに感染したら

特異的な治療はなく、症状を和らげる対症療法が行われます。

下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

個人差はありますが平均3日程度で症状は快方に向かいます。

しかし、脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

★症状が改善しない場合は医療機関に相談しましょう。

例) ・おう吐が続いて水分が取れない状態が半日以上続く。

- ・腹痛がひどい・だんだんと痛みが増してくる。
- ・1週間以上下痢が続く、または血便が出る。
- ・3日以上高熱が続く。
- ・ぐったりして歩行も困難。



★ノロウイルスは、症状がおさまっても、長期間便から排出されます。トイレの時は蓋を閉めて流しましょう。

出来るだけ早く回復するためには

- ・経口補水液やスポーツドリンクを少量ずつ体に入れます。
- ・食欲が出てきたら、うどんやおかゆなど消化に良いものを摂りましょう。



大学への報告は？

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、学校保健安全法の登校停止感染症には指定されていません。

- ・医師から授業を休むよう言われた場合は、療養期間を含めて医師に確認をしてください。
(授業や学内試験などの手続きが必要な場合は、担当教員や教務課 HP 等で確認してください)
- ・感染から約2週間はウイルスを排出し続け、感染拡大を起こすといわれています。トイレと食事前後の石鹸と流水での手洗いは徹底してください。

内閣官房内閣広報室 HP ノロウイルス対策

[ノロウイルス（感染性胃腸炎・食中毒）対策 | 首相官邸ホームページ \(kantei.go.jp\)](https://www.kantei.go.jp/)